

人のぬくもりとふれあいが奏でる躍動のまち 丹波高原文化の郷●京丹波

広報 | 京丹波

NO.116

2015年6月17日発行

6月号

新緑の中
元気にプレー



特集 道の駅「京丹波 味夢の里」オープンへ

特集 道の駅「京丹波 味夢の里」オープンへ

特集



ウエルカミングゲート すべての人を歓迎するふるさとの新しい玄関口



京丹波マルシェ 京丹波町のおいしさの魅力に心がときめく大市場



京丹波ステーション 木のぬくもりに満ちた情報発信拠点



レストラン 時間の流れにゆっくりと寄り添う安らぎのお食事スペース

なる懸念ももたれていました。このため、縦貫自動車道を通行する人に京丹波町の情報を発信し、町内を訪れてもらうため京丹波パーキングエリアに隣接する地域振興拠点施設として、道の駅を整備しました。

町の新たな玄関口「味夢の里」は、次の三つの拠点として町の魅力を最大限に活用し、地域経済の活性化を目指していきます。



オープンを待つ味夢の里(京丹波パーキング側・曾根)

味夢の里の役割

交流拠点

丹波自然運動公園などの周辺環境を生かし、自然や歴史、地域の人々とのふれあいを楽しめる施設とします。

情報発信拠点

通行する人に「食」・「文化」・「観光」などの町の魅力を集約してP

温かみとこだわりで もてなす京都丹波 ブランドの発信基地

道の駅「京丹波 味夢の里」(以下「味夢の里」)は、曾根地内の塩谷古墳公園を見下ろす高台にあり、現在、七月十八日のグラウンドオープンに向け準備が進められています。

「京都府の背骨」とも言うべき京都縦貫自動車道の開通は、通行する人の利便性の向上、町内の国道などの渋滞緩和などに大きな期待が寄せられる一方、「通過のまち」と

Rします。

施設利用をきっかけに、通行者を町内各所へ直接的な誘導を図ります。

おいしさの拠点

農産物・特産品の販売、飲食施設など京都丹波ブランドのおいしさを楽しみ、その価値を二層高めます。



今月の表紙

グリーンランドみずほホッケー場で行われたホッケーフェスティバル。子どもから大人までが、人工芝の張替えが完了した新しいフィールドではつらつとプレーし、交流を深めました。

No.116 CONTENTS

- 2 [特集] 道の駅「京丹波 味夢の里」オープンへ
- 6 共に支えあう社会へ
京丹波町高齢者福祉計画及び第6期介護保険事業計画
- 8 行政information
社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)が始まります
- 10 Dr's Message いきいき健康術
- 11 あそぶ! みる! たべる! まなぶ!
森のぶるぶ
- 12 FLASH KYOTAMBA TOWN NEWS 2015
 - おめでとうございます
—京都府指定無形文化財保持者認定
 - 新しいフィールドで熱戦
—ホッケーフェスティバル
 - ご寄付ありがとうございます
—ふるさと納税者に感謝状
 - アトラクションを満喫
—ちびっこまつり
 - 夜でもプレー可能に
—グリーンランドみずほグラウンド・ゴルフ場にナイター設備
 - 自転車事故防止へ
—自転車交通安全教室
 - 五穀豊穡を願い
—京都祇園八坂神社御田祭
 - 3年連続受賞
—全国広報コンクール
 - 健康術を学ぶ
—高齢者・障がい者生涯学習講座
 - 手植えて描く自然の芸術
—あっぱれたんぼ田植えイベント
- 16 【シリーズ】季節の食材を使ったお手軽料理レシピ

皆さん
ご参加ください

京都縦貫自動車道全線開通記念
道の駅「京丹波 味夢の里」プレオープンイベント

京都丹波 食の祭典

日時 7月12日(日) 午前10時～午後4時

場所 道の駅「京丹波 味夢の里」

道の駅「京丹波 味夢の里」
のプレオープン

京丹波マルシェ、フードコート、
レストランがプレ営業。朝市も開催

イベント内容

※詳しくは、
町ホームページ等をご確認ください。

亀岡、南丹、京丹波の
こだわりの逸品・店
総勢40店舗(予定)が
出店

全国で活動する5人組バンド
「こゆみこ」による
京丹波町イメージソング
『あさつゆ』完成記念ライブ
(午前11時～)

丹波ひかり小学校を会場に、
熱気球に乗って空から
「京丹波 味夢の里」を見ることができる
京丹波バルーン
トライアル(午前6時～)

京都府主催
3,000人の
ハイウェイフリーウォーク
(午前9時30分～)

【問】 京丹波町商工観光課 ☎82—3809

京都縦貫自動車道全線開通記念イベント

京都丹波 ハイウェイウォークチャレンジ・デー

日時 7月13日(月)・14日(火)

[第1回] 午前10時30分～ [第2回] 午後0時30分～ [第3回] 午後2時～

場所 道の駅「京丹波 味夢の里」周辺

内容 道の駅「京丹波 味夢の里」～須知川橋まで(約2.5キロ)のハイウェイウォーク
※申込方法など、詳しくは町ホームページなどをご確認ください。

問い合わせ 京丹波町商工観光課 ☎82—3809

まちの総合案内所 「京丹波 味夢の里」

京丹波町の「交流」「情報発信」「お
いしさ」の拠点となる道の駅「京丹波
味夢の里」。ここは、町外から訪れた
人たちが、この施設で食、観光、人な
ど、まちの魅力の一端に触れ、さらに
京丹波町を訪れるきっかけとなるこ
とを目的としています。

この地域振興拠点施設で京丹波
町の案内などを行うのが、施設内の
「京丹波ステーション」で働く三人の
「コンシェルジュ」です。

コンシェルジュとは、古くは建物の
門番であったとも言われ、十九世紀
のヨーロッパでは、ホテルの鍵の管理
係でもありました。最近では、ホテ



コンシェルジュ
まつした ちえ
松下智恵さん

ルで宿泊客のあらゆる要望や案内
などに対応する「総合的世話係」と
して使われている職種ですが、「究
極のパーソナルサービス」ともいわ
れています。

このコンシェルジュの一人が松下智
恵さん(長瀬)です。

松下さんは、コンシェルジュになる
前は、町外で働いていましたが、家
族の勧めもあり味夢の里のスタッフ
に応募しました。

「コンシェルジュ」という仕事につ
いて松下さんは「最初は全くイメー
ジができませんでした。自分にできる
のか不安でした」と話します。



アナウンスの練習をする松下さん(道の駅「京丹波 味夢の里」・曾根)

オープンを約一カ月後に控えた六
月三日、この日は町内の団体に施設
の案内をしたという松下さん。オー
プンまで施設見学の予定がたくさ
ん入っていると云います。

また、施設案内のほかにも館内に
置く近隣観光施設のパンフレット取
集やオープン後に問い合わせがある
と思われる町内各地への移動時間の
把握、管内アナウンスの練習など、
多忙な日々を送っています。

町内でもまだ分からないところ
もあるという松下さんは、休日には
町内を巡ったりしています。今後は、
オープン後に京丹波ステーションで
町内のことを聞かれたときに渡すハ
ンドマップを作る予定です。このハン
ドマップには、三人のコンシェルジュ
で町内を回り、自分たちが感じたこ
とを載せたいと考えています。

京都縦貫自動車道が全線開通し
「通過のまち」になるかもしれないと
いう声も聞かれる京丹波町。松下さ
んは「目的の地が京丹波町でなくても、
休憩に立ち寄ってもらったときに京
丹波町を知ってもらい、次の機会に
は、京丹波町に来てもらえるように
したい」と、オープン後の思いを話
していました。

生産者も オープンに向け準備

七月のグランドオープンに向け着
実に準備が進む味夢の里。施設の準
備と並行して「京丹波マルシェ(特産
物販売施設)」などに出荷する出荷
者協議会も訪れる人たちを出迎える
準備を進めています。

五月二十四日には、町中央公民館
で同協議会の総会が行われました。
総会では、平成二十六年度の事業
および決算が報告された後、平成二
七年度の事業計画と予算が承認さ
れました。

現在、百二十人が加入する出荷
者協議会。総会ではこのほか、オー
プン後のイベント計画の確認などが
行われました。



出荷者協議会であいさつする同協議会の上田秀男会長(町中央公民館・蒲生)

基本理念

みんなで支える“輝く生涯” あたたかな心でつくる安心・健康・いきいき 京丹波

京丹波町高齢者福祉計画及び 第6期介護保険事業計画



町ではこのほど、平成二十九年年度までの三年間を計画期間とする「京丹波町高齢者福祉計画及び第六期介護保険事業計画」を策定しました。計画の概要は次のとおりです。

計画の策定経過

介護保険制度が平成十二年に始まって十五年。現在では、サービス利用者も増加し、高齢者を支える制度として定着しました。



計画策定に向け審議する策定委員会の様子(瑞穂保健福祉センター・和田)

この間、全国的に高齢化は進み、平成二十五年には国民の四分の一が高齢者となりました。本町は、人口減少とともに高齢化がさらに進み、平成二十六年十月現在で三七・三%となりました。

高齢者福祉計画と介護保険事業計画は、高齢化社会を支える基本指針として、平成十二年度から三年ごとに見直しを行ってきました。

今回、町では、平成二十七年年度からの三年間を第六期として計画を策定するため、平成二十六年六月十日に第一回策定委員会を開催し、委員十八人を委嘱。全六回の会議を重ねて計画を策定しました。

第六期計画のポイント

策定した第六期計画では、大きく次の二点がポイントとなります。

1 認定区分が要支援の方の訪問介護・通所介護を地域支援事業へ移行

制度改正により、要支援の方の訪問介護と通所介護は、今年度から平成二十九年年度までの間に地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)へ移行することとなりました。本町では、平成二十八年年度後半から徐々に移行する予定です。

2 認知症施策や権利擁護の推進

国の認知症施策総合推進戦略(新オレンジプラン)に基づいて、認知症サポートの普及、本人や家族の支援強化に取り組めます。また、これまでもから実施している脳トレ・筋トレ教室の実施、認知症等徘徊SOSネットワークの構築にも取り組めます。



地区公民館などで行われる筋トレ教室。継続して実施します(西河内集落センター・西河内)

基本目標

1 地域包括ケアシステムの推進

- 【主要施策】
- ・地域包括ケアシステムの構築(地域包括支援センターの機能強化)
- ・高齢者を支える地域の体制づくり

2 健康づくりと介護予防・生活支援の充実

- 【主要施策】
- ・健康づくりの推進
- ・介護予防の充実
- ・生きがいづくり活動の推進
- ・生活支援サービスの充実

3 認知症施策と高齢者の権利擁護の推進

- 【主要施策】
- ・認知症施策の推進
- ・高齢者の権利擁護の推進

4 医療との連携や住まいの基盤整備

- 【主要施策】
- ・医療・福祉・介護連携体制の整備
- ・高齢者の住まいの確保
- ・高齢者にやさしいまちづくりの推進

5 介護サービス等の基盤整備と質的向上

- 【主要施策】
- ・介護保険制度の概要
- ・介護保険サービスの現状と見込み
- ・地域支援事業の充実
- ・介護サービスの質の確保・適正化
- ・介護保険給付費総額の推計
- ・介護保険料の設定
- ・介護保険制度を円滑に実施するための諸施策

地域包括ケアシステムにおける5つの「構成要素」



出典:地域包括ケア研究会報告書

基本目標および施策体系

策定した計画では、基本理念のもと五つの目標を掲げ、目標実現のためにそれぞれの次とおり主要施策を定めています。

計画を推進するために

この計画は、町の高齢者に関する総合的な計画です。このため、行政だけでなく保健・福祉・医療・介護・防災などの各機関との連携は、欠かすことができません。町の関係部署はもとより、町民の皆さん



昨年度の健診の様子。今年度も各地区で開催します(山村開発センターみずほ・大朴)

や関係団体に計画の趣旨や内容の周知を図り、協力して推進していきます。

また、町では、計画に基づく施策の推進にあたり、保健・医療・福祉に関する総合的な視点で推進状況を評価・確認していくこととしています。

社会保障・税番号制度 (マイナンバー制度)が始まります

社会保障・税番号制度(以下、「マイナンバー制度」とは、社会保障と税の各制度における行政手続きや災害対策(被災者台帳の作成など)の場面で効率化を図り、国民の利便性を高め、公平・公正な社会を実現する社会基盤です。



マイナンバー制度について

1 公平・公正な社会の実現

所得や他の行政サービスの受給状況が把握しやすくなり、不当・不正な受給防止を図ることができ、本当に困っている方にきめ細やかな支援を受けてもらえるようになります。

2 国民の利便性の向上

さまざまな申請などの手続きに必要な添付書類の削減ができ、行政手続きを行う上で負担が軽減されます。また、インターネットにより行政機関が持っている自分の情報を確認することができたり、行政サービスのお知らせを受け取ったりできます。

3 行政の効率化

行政機関内でのさまざまな情報の照合・転記・入力効率化が図られ、複数業務間での連携が可能となることから、確認作業の重複などの無駄が削減されます。

マイナンバー制度の導入にあたり

1 通知カード

- いつから：平成27年10月から順次お届けします。
- どんな方法で：町が個人番号カードの作成を依頼する地方公共団体情報システム機構(J-LIS)から、住民票がある住所地へ郵便(簡易書留)によりお届けします。来庁の必要はありません。

住民票を有する全ての住民の皆さんに、12桁の1人1つの個人番号(以下「マイナンバー」)をお知らせするものです。通知カードには、個人番号カード交付申請書が同封されます。マイナンバーは、特別な事情がない限り一生使うものです。

2 個人番号カード

- いつから：平成28年1月からカードの交付を開始します。
- 交付方法は：個人番号カードの発行を希望される方は通知カードに同封される返信用封筒でJ-LISへ申請いただけます。カードの交付は京丹波町から行います。

表面には顔写真、住所、氏名、生年月日および性別が、裏面には個人番号、住所および氏名が記載されます。また、カードには利用する場合に必要な情報が入ったICチップが埋め込まれています。

ただし、所得情報などのプライバシー性の高い個人情報は記録されません。

個人番号カードは、本人確認のための身分証明書としても利用できます。



3 マイナンバーの利用

平成28年1月以降、順次、社会保障・税・災害対策の行政手続きでマイナンバーを利用します。しかし、社会保障・税・災害対策の中でも、法律や自治体の条例で定められた行政手続き以外にはマイナンバーを利用しません。

※ 利用例

- 毎年6月の児童手当の現況届の際に市区町村に提示します。
- 厚生年金の裁定請求の際に年金事務所に提示します。
- 確定申告書や住民税申告書などに記載します。
- 勤務先に提示して、源泉徴収票等に記載します。
- 被災者台帳の作成事務に利用します。

4 注意してください!

マイナンバーは、社会保障・税・災害対策の手続きのため、国や地方公共団体、勤務先、金融機関、年金・医療保険者などに提供するものです。むやみに他人に提供しないでください。また、次のことをすると、法律により処罰(懲役や罰金)の対象になります。

- ① 他人のマイナンバーを不正に入手すること
- ② 他人のマイナンバーを取り扱う者がマイナンバーや個人の秘密が記録された個人情報ファイルを不当に提供(漏えい)すること

5 マイナンバーには保護措置を行います

マイナンバーを安心・安全にご利用いただけるように制度面とシステム面で保護措置を行います。

① 制度面の保護措置

法律に規定のあるものを除き、マイナンバーを含む個人情報の収集や保管は禁止しています。また、特定個人情報保護委員会という第三者機関において、マイナンバーが適切に管理されているか監視・監督をします。

② システム面の保護措置

個人情報は一元管理しません。今までどおり、年金の情報は年金事務所で、税の情報は税務署というように分散して管理します。また、行政機関の間で情報のやりとりをするときも、マイナンバーを直接使わず、システムを使用できる人を制限し、通信する場合は暗号化を行います。

6 自分の個人情報の動きが確認できます

平成29年1月からマイナポータル(情報提供等記録開示システム)が稼動する予定で、マイナンバーを含む自分の個人情報をいつ・誰が・なぜやりとりしたか確認できます。

マイナンバーに関するインターネットホームページとコールセンターが開設されています

詳しくは、下記ホームページなどをご覧ください。

マイナンバー特集ページ

政府広報オンラインページ内

URL: <http://www.gov-online.go.jp/tokusyuu/mynumber/index.html>

解説ページ

内閣官房ホームページ内

URL: <http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bangoseido/gaiyou.html>

コールセンター

平成26年10月1日から開設されています。

開設時間は、平日のみ午前9時30分～午後5時30分

(土日祝日・年末年始は営業していません)

※平成27年10月から平成28年3月までは午後8時まで延長します。

【日本語窓口】

☎0570-20-0178

【外国語窓口】

☎0570-20-0291

あそぶ! みる!
たべる! まなぶ!

森のぶるぶ

年輪のコピーを使って
年表を作る親子

参加者が見守る中行わ
れる間伐作業



須知高校生の指導を受けビザづくりに挑戦する子どもたち



ウィードの森の説明を聞く参加者



のこぎりで枝を切る参加者

森の遊び

イベントの最初に行われたウィードの森でのヒノキの間伐作業の見学と鋸引き体験では、林業大学の木村祐一(きむらゆういち)副主査から森に関する話が行われた後、参加者らが見守る中、林業大学の長井種之(ながいたねゆき)教授が、チェーンソーで樹齢七十年になるヒノキを切り倒しました。間伐作業後、子どもたちは、切り倒した木の枝をのこぎりで切る鋸引き体験を楽しみました。

親子が参加しました。このイベントは、昨年の全国高校生観光甲子園で須知高校生が提案した「京都丹波・水紀行」をモデルに、須知高校学校林の活用に向けた整備を進める「ウィードの森」の会や須知高校、林業大学が企画しました。

森の学び・恵み

イベントではこのほか、「ウィードの森」のガイドツアー、須知高校の石窯を使ったビザづくりが行われました。ガイドツアーでは、町の松本和久(まつもとわく)特別参与がウィードの森を案内。森の名前の由来となった須知高校の前身、京都府農牧学校の主任教員ジェームス・オースチン・ウィード氏について説明したほか、ウィード氏が植えていたとされるブラックベリーの植樹など、会の活動を紹介しました。ツアー中には、植樹した木の周辺に自生しているブラックベリーを発見。参加者らは、ウィード氏が植えた木の子孫かもしれない幼木を興味津々な様子で見えました。

鋸引き体験をした深見美博君(ふかみみひろ)は、今までに父親と木を切ったりすることがあるとしながら「切りやすかった。すごく良いにおいがありました」と、切った感想を話していました。このほか、参加者らは、ヒノキの年輪を使った家族の年表づくりを楽しみました。

Dr's Message

いきいき健康術 第94回

「ムカデ咬傷」

このコーナーは、町立病院・診療所の医師や専門職員が皆さんにお届けする健康情報コーナーです。今回の担当は、国保京丹波町病院和知診療所の庄林智所長。最近、ムカデに咬まれたときに取り入れられている治療法に関するお話です。

春から夏にかけてムカデに咬まれて来院する患者さんが急増します。玄関で靴を履いたときや農作業をしようと軍手をはめたときに、中に潜んでいたムカデに足先や指先を咬まれたとか、寝ているときに痛みが走り驚いて明かりをつけたら、ムカデが布団の上をはついていたとか、田舎ではよくある出来事です。

ある殺虫剤会社のホームページには「ムカデに咬まれたら直ちにアゴを引き離し、ムカデの頭を叩きつぶす。咬みあとから毒をできるだけねばり強く時間をかけて絞り出すこと」と書いてあります。その場でムカデを退治することはさておき、傷口を水で洗い流し毒が広がらないように患部周辺を冷やし、抗ヒスタミン剤やステロイド剤の入っている軟膏を塗るのが一般的な治療とされています。

しかし最近では、ムカデ咬傷に対する「温熱療法」が一部の医療機関で実践され始めています。ムカデの毒は激しい炎症を起こす酵素のほか、ポリペプチドやヒスタミンが含まれており、これらはタンパク質で構成されているので四十二度以上の熱により変性しやすいのです。そして、ムカデ咬傷の場合ごく浅い皮膚表面の傷から毒が入るので、四十二度以上、できれば四十五度前後の熱めのシャワーをかけて流すと毒が広がるのを抑えることができるというわけです。



所長 庄林 智先生(和知診療所)

ムカデは、人命にかかわる被害はほとんどなく、日本ではムカデの咬傷により死亡した例は報告されていません。しかし、何度も咬まれるとアナフィラキシーショックを発症することもあり、海外では死亡例もあるとのこと。咬まれた場合には、速やかに医師の診察を受けることをお勧めします。

お知らせ

和知診療所では、訪問診察を火曜の午後に行っています。また、訪問看護についても随時行っていますので相談ください。

☎84-1112

おめでとうございます

■京都府指定無形文化財保持者認定

町の石橋裕さん(雅号「石橋裕史」さん。実勢)がこのほど、京都府の指定無形文化財「陶芸」の保持者に認定され、五月十四日、京都府公館(京都市)で認定書交付式が行われました。

認定式には、石橋さんと妻の久子さんが出席。京都府教育委員会の小田垣勉教育長から、石橋さんに認定書が交付されました。今回の認定を受け石橋さんは「(認定を)心から感謝します。今、文化にとって厳しい時代と感じています。後にくる人に作品を通じて夢と憧れを与えられるように、全身全霊をかけて作品を作つていきたい」と、受賞の喜びと今後の作品の制作にかける思い



認定書を受け取る石橋さん(京都府公館・京都市)



石橋さんの作品「彩刻磁 大鉢」

を話していました。

石橋さんは、東京都出身で、昭和五十九年に京丹波町(当時の丹波町)に窯を構えられました。

石橋さんの作品は、釉薬を塗って焼き上がった器の表面の圧縮空気とともに砂を吹き付ける「サンドブラスト」により削る「彩刻磁」という独自の技法により作り上げるものです。

石橋さんの作品は、日本伝統工芸展において、平成十三年(第四十八回)に日本工芸会奨励賞、平成二十二年(第五十七回)に文部科学大臣賞、平成二十六年(第六十一回)で日本工芸会奨励賞を受賞するなど、数々の賞を受賞しています。

現在、府指定無形文化財保持者は石橋さんを含め十四人。町内では初の認定となります。

「寄付ありがとうございます」

■ふるさと納税者に感謝状

ふるさと応援寄付金(ふるさと納税)制度により、平成二十六年途中で高額の寄付をいただいた町内出身の片山山治さん(神戸市)に対し、四月二十一日、役場町長室で寺尾豊爾町長から感謝状が贈られました。

片山さんは、平成二十六年四月からほぼ毎月町に寄付。この寄付額が、年度内に百万円に達したことから、今回、町では、多額の寄付に感謝し、贈呈を決定しました。感謝状を受け取った片山さんは「知り合いから『町ががんばっ



寺尾町長から感謝状を受け取る片山さん(役場町長室・蒲生)

ている」と聞き、寄付を始めました。町の活性化に活用してほしい」と、寄付に込めた思いを話していました。

夜でもプレー可能に

■グリーンランドみずほグラウンド・ゴルフ場にナイター設備

グリーンランドみずほ内のグラウンド・ゴルフ場にこのほど、ナイター設備を設置し、五月一日に点灯式を行いました。

この設備は、平成二十五年九月に本町を襲った台風十八号により大きな被害を受け、昨年度

に廃止したわち「水と陸」自然双生運動公園内のテニスコートから移設したものです。

式典では、グリーンランドみずほ株式会社の島中源一社長が、今回のナイター設備の設置とともに四月に完成した人工芝ホッケー場の改修などに触れ「周辺に同様の施設ができ、魅力が薄れてきたのも事実であり、オン

新しいフィールドで熱戦

■ホッケーフェスティバル

四月二十六日と二十九日に、グリーンランドみずほホッケー場で第十回ホッケーフェスティバルが行われました。町内外から参加した小学生から大人までの参加者が、ホッケーを通して交流を深めました。

今年のフェスティバルは、ホッケー場の人工芝を張り替えたことから、全ての試合を人工芝ホッケー場で開催。二日に分けて実施しました。

参加者は、太陽の光を受けた色鮮やかな緑のフィールドで、勝利を目指して競い合いました。部門ごとの優勝チームは次のとおりです。



ゴールを守りきり、攻め上がる選手



競り合いながらゴールを目指す子どもたち

- 小学男子の部
篠山ジュニアホッケークラブA (兵庫県)
- 小学女子の部
瑞穂ホッケースポーツ少年団 (京丹波町)
- 中学男子の部
朝日中学校(福井県)
- 中学女子の部
朝日中学校(福井県)
- 一般男子の部
篠山BB+(兵庫県)
- 一般女子の部
Sunny's(奈良県)

アトラクションを満喫

■ちびっぴまつり

こどもの日の五月五日、丹波自然運動公園内のこどもの広場で恒例のちびっぴまつりが行われました。イベントには、町内をはじめ京阪神などから二万六千人が訪れました。

イベントでは、府立工業高校機械プランニング科の生徒が製作したロードトレインなどの乗り物をはじめ、ジャブ池での金魚のつかみどり、警察・消防のコーナーなどが設けられ、訪れた子どもたちは、ゴールデンウィーク中の子どもたちの祭典を楽しんでいました。このほか、会場内では、南丹・船



府立工業高校の生徒が作った乗り物を楽しむ子どもたち(丹波自然運動公園・曾根)

井レクリエーション協会によるお楽しみコーナーも行われ、子どもたちは、コマなどの懐かしい遊びのほか、フリスビーやこいのぼり作りなどに挑戦していました。



照明が点灯したコースでプレーする人たち(グリーンランドみずほグラウンド・ゴルフ場・大朴)

自転車事故防止へ

■自転車交通安全教室

平成二十七年春の全国交通安全運動最終日の五月二十日、蒲生野中学校でJA共済連京都や京都府警察による自転車交通安全教室が行われました。教室では、スタントマンによる実際の交通事故場面を再現することで、危険性を体験する「スケアド・ストリート教育技法」により、交通ルールやマナーの順守が呼びかけられました。

スタントマンらは、自転車での二人乗りや傘差し運転、蛇行運転などによる事故を再現、実際に自動車と衝突する場面などでは、生徒から驚く声が上がって



自転車と車の事故の再現を見学する生徒(蒲生野中・蒲生)

「家族の愛で はぐくむ命」が、映像の部で入選しました。この番組は、井尻在住の岡本伸二さん・さやかさん夫婦に密着し、長男龍之介君の子育てと夫婦が授かった新たな命の誕生に夫婦二人三脚で向き合う姿を描くことで、子育ての素晴らしさと大切な命を育むことの意味を伝えるものです。

五 穀豊穰を願い

■京都祇園八坂神社御田祭

下山地内にある京都祇園八坂神社の神饌田で五月二十四日、御田祭が行われました。

祭礼では、神事のほか、祇園八坂神社青年部による獅子舞、丹波八坂太鼓保存会による太鼓演奏とともに、早乙女による神饌田での田植えが行われました。八人の早乙女は、多くの人が見守る中、一株ずついいねいに手植えを行いました。

この御田祭は、昭和四十五年から始まり、今年で四十五回目の開催。祭礼で植えつけられた稲は、七月二十四日に行われる祇園祭で神輿の飾りに使われる



苗を手植えする早乙女たち(下山)

三年連続受賞

■全国広報コンクール

全国の都道府県・市町村などが加入する日本広報協会主催の平成二十七年全国広報コンクールにおいて、町情報センターが制作した子育て家族に密着したドキュメンタリー番組

「家族の愛で はぐくむ命」が、映像の部で入選しました。この番組は、井尻在住の岡本伸二さん・さやかさん夫婦に密着し、長男龍之介君の子育てと夫婦が授かった新たな命の誕生に夫婦二人三脚で向き合う姿を描くことで、子育ての素晴らしさと大切な命を育むことの意味を伝えるものです。

同コンクールで三年連続入選以上という結果を受け、町情報センターでは、今回の受賞を励みとして、今後も地域の皆さんとの連携を密にした番組づくりを進めていきます。



受賞した子育て番組

健康術を学ぶ

■高齢者・障がい者生涯学習講座

町内の高齢者と障がい者を対象とした生涯学習講座「いきいき大学」と「ひまわり学園」の開講式と第一講座が五月十八日、町中央公民館で行われました。両講座合わせて七十二人が受講しました。

開講式に続いて行われた第一講座では、町保健福祉課の永海貴子保健師、三田杏奈保健師、

上林小百合栄養士が、健康づくりに関する講演を行いました。低栄養の予防に関して講演した上林栄養士は、「新型栄養失調」と呼ばれる二十代女性のやせが戦後最悪となっていることなどを説明し、「一日三食きちんと食べることは、当たり前のことですが、難しいことです。主食、主菜、副菜を揃えたバランスのとれた食事を心がけてください」と健康のための食事について話しました。

このほか、講座では、ロコモ(口コモティブシンドローム。筋肉、骨、関節、軟骨、椎間板がうまく働かなくなり、歩行や生活に支障をきたす状態)を予防するためのトレーニング方法などの説明が行われました。両講座は、今後、いきいき大学が五講座、ひまわり学園が四講座予定されています。



栄養について話す上林栄養士(町中央公民館・蒲生)

手植えて描く自然の芸術

■あっぱれたんぼ田植えイベント

丹波自然運動公園近くの水田で五月三十一日、六種類の稲を使って田んぼに絵を描く田んぼアート「あっぱれたんぼ田植えイベント」が行われました。

今年で七年目を迎えるイベントには、京阪神などから二百四十人の親子などが参加。参加者らは、事前に田んぼに打たれた杭とロープを目印に、泥に足をとられながらも田植えを楽しみました。

イベントをインターネットで知り、二家族で参加したという榎田知秀さん(神戸市)は「初めて田植えをしましたが、すごく大変でした。でも、みんなでワイワイ言いながらするので楽しいですね」と、初めての田植え体験を楽しんでいます。

植えつけられた田んぼは、秋には豊かな実りとともに、二ひきのカエルが熱気球に乗って未来へ飛び立つ姿が描き出される予定です。



一株ずつ苗を手植えする参加者(曾根)

わたしたちの町

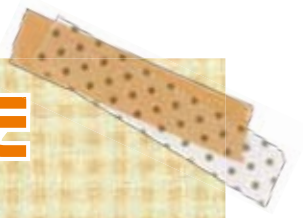
人口	15,371(-18)
男	7,275(-1)
女	8,096(-17)
世帯数	6,399(+5)
6月1日現在/()は前月比	

義援金などの受付状況

東日本大震災への支援として取り組んでいる「義援金」と、友好町・福島県双葉町への「復興支援募金」の受付状況をお知らせします。

受付金額	
義援金	9,299,567円
復興支援募金	6,571,598円

*平成27年5月31日現在



季節の食材を使った お手軽料理レシピ

[シリーズ] 第25回
食卓の一品に
どうぞ!!

このコーナーでは、「わたしたちの健康はわたしたちの手で」をスローガンに掲げ、食生活を通じた健康づくりに取り組んでいる食生活改善推進員協議会の皆さんに、季節の食材を使って簡単に調理できる料理を紹介していただきます。

今回は、新じゃがいもをごまの香り豊かに仕上げた煮物です。隠し味に白みそを使いました。冷めてもおいしい減塩料理をお楽しみください。

今回の料理

「新じゃがいも のごまみそ煮」

POINT!

- 煮る前に鶏ひき肉を炒めることで、全体の味を含みやすくなります。
- すりゴマをたくさん使うことでコクが感じられ、塩分控えめでもおいしいです。



● 1日に必要な野菜の量は300~350g。
このメニューでは約90gの野菜が取れます。

【材料(4人分)】

- ◆新じゃがいも… 4個(約500g)
- ◆鶏ひき肉…………… 100g
- ◆板こんにゃく… 1/2枚(125g)
- ◆ニンジン…………… 100g
- ◆新たまねぎ…………… 200g
- ◆さやいんげん…………… 60g
- ◆ごま油…………… 大さじ1
- ◆白すりごま…………… 大さじ5
- 調味料
- ◆白みそ……………大さじ1
- ◆塩…………… 小さじ1/2
- ◆しょうゆ……………小さじ1
- ◆本みりん……………大さじ3
- ◆だし汁……………2カップ(400cc)

■作り方

- ①フライパンにごま油を入れ、鶏ひき肉をほぐしながら炒める。
- ②じゃがいもとニンジンは皮をむいて乱切りにし、玉ねぎは皮をむいて半月切りにする。こんにゃくは塩もみをして下ゆでをし、一口大にちぎる。
- ③さやいんげんは熱湯で軽く茹で、3cmの長さに切る。
- ④鍋に調味料を入れ、①②を加えて火にかけて中火で煮る。
- ⑤野菜に竹串が通り、煮汁がほぼ無くなれば③とすりごまを加えて軽く混ぜる。
- ⑥器に盛り付け、上から再度すりごまをかける。

■栄養価(1人分)

エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	食物繊維	塩分
290kcal	10.6g	11.5g	183mg	5.6g	1.3g

お世話になります



今年度から新たに京丹波町食生活改善推進員協議会役員になられた皆さんです。これから2年間、レシピ作りに協力いただきます。

〈次回は9月号に掲載する予定です〉

編集後記

6月に入り、水田の色も稲の成長とともに緑の濃さを増してきました。これからこの稲が順調に成長し、秋の刈り取りが終わるころには、京丹波町は合併10周年の節目を迎えます。

さらに、それに先立つ7月には、京都縦貫自動車道の全線開通と道の駅「京丹波 味夢の里」のオープン、8月にかけては、グリーンランドみずほをメイン会場とした全国高校総体ホッケー競技も開催されます。

平成27年は、京丹波町がめまぐるしく動く一年となります。いまさらですが、きっちり記録していかなければいけないと、シカの足跡がついた田んぼを回りながら考えています。(T)

【おわびと訂正】

広報京丹波第114号の11ページ「片山泰敏」さんは「片山靖敏」さんの誤りでした。おわびして訂正します。

京丹波町のシンボル

【町の鳥】
うぐいす



【町の木】
イチヨウ



【町の花】
つつじ

